

臺灣幼兒保育について

保育大會に於ける研究發表

本稿は去る十一月一、二日に、臺北に於て開催せられました全國保育大會に於ける研究發表の一部であります。内地に住む私共が彼地の保育の様子を知り度いと思つて昨年ついでその機會を得ずになり勝ちですのでパンフレットをお送りいたしましたのを幸ひ、こゝに轉載させていただきます。 (編輯者)

始政四十年の星霜を経て築き上げられた現臺灣の文化は非常な發展をなし、殖産興業と云ひ教育の施設といひ交通其他各方面に於ても素晴しく進歩充實して來た事は、誠に慶賀にたえない次第である。

私共教育當事者として教育方面を眺むるに、下は多數の小公學校より男女中等學校實業學校及び専門學校は勿論、上は大學に至る迄も設置せられて誠に喜ばしい事である。

然し唯一つ遺憾に思はれるのは當市の幼稚園は悉く私立の手に委ねられてゐるので、自然經費不十分にして設備其他に不備の點が多い。これは麗はしい文化の誇りを有つ臺灣として誠に物足らぬ感が深いのである。

顧みれば十數年前の當市に於ける幼稚園は僅かに臺北、愛育、の二園で幼兒數も少なく殊に本島兒の希望者も僅少

であり、社會が幼稚園に對する理解を持つ人も少ない有様であつた。然るにそれより數年にして各方面より幼稚園の必要を痛切に認められ、こゝに大正、樹心の二園が相前後して設立せらるゝに至つた。當時四園の保姆が保姆會を開き保育研究をして居つた。

それより本島の文化は日と共に進歩著しく幼兒の入園希望者も増加するに至り年々幼稚園は各所に新設せられ現在にては當市に十一の幼稚園がある。其内八園は内臺幼兒を保育し三園は本島幼兒を保育して居る。従つて保姆會々員も増加するにつれて名稱も臺北市保育會と改め益々保育の研究に努めて居る。尙ほ數年來保姆の向上進歩を計る爲め、臺灣教育會の御援助を仰ぎ、内地の講習會に保姆を派

遣し其都度島内の參加希望者をも併せて、内地に於ける講習の發表會を兼ねて講習會を開催して本島幼児保育の考究に資してゐる。

近年本島人の家庭が我が國體の精華を漸次認識するに共に、次第に教育方面にも目覺め、其の結果内地人幼稚園に入園を希望する本島人幼児數も次第に増加するに至つた。これは誠に喜ぶべき現象であるが、併し内地人全く生活環境を異にする本島人を收容し、内臺保育を行ふさいふことは至難事である。而し本島にある幼稚園としては最も大切なことである。その效果の最善を期する爲めには將來尙大いに研究の餘地がある。私共の經驗した事を左に述べ度いと思ふ。

一、内地人幼児の幼稚園へ入園

志望の理由

内地人幼児の家庭は官吏、商人等割合に多い爲に家庭が多忙で概して若き父母が多い様である。

- 1 家庭教育を補ひ従順にして快活なるため。
- 2 健康を増進し偏食及び間食の矯正をするため。

- 3 共同生活により氣儘の矯正をしたため。

入園希望の内地人幼児は健康状態を調査して入園せしむ。

二、本島人が内地人幼児を主とせる

幼稚園へ入園を志望する理由

内臺共學制の實施せられたるは大正九年にして、それと共に小學校は勿論幼稚園にも入園希望者が日を追つて増加して來たのである。左に其理由を摘記すれば

- 1 幼稚園を單に小學校の準備をなす所と考ふるもの。
- 2 將來小學校に共學を希望し進んで上級學校に迄入學せしむる準備のためと考ふるもの。
- 3 實際生活の上に國語の必要を認め且つ内地人と同等地位に生活せしめんとして行儀作法を習ひたきもの。

三、如何なる本島人幼児を入園せしむるか

現在に於ては保育上の効果を考慮し全幼児の約四分の一を限度とし(但し内地人に對する十分の一位の本島人幼児を取扱ひつゝある幼稚園もある)左の諸項を考查し是れに

該當するものを入園許可してゐる。

1 會話によりて幼児の國語常用の程度を試す。

イ、保姆の言語を解するもの。

ロ、日常使用せるもの、名稱自己の姓名等を答ふる者

2 保護者の修養程度。

イ、父母何れか國語を話し得るもの。

ロ、保護者はなるべく教養あるもの。

3 志望の理由正しきもの。

4 幼児の健康状態調査をする。

四、内臺幼児の幼稚園に於ける状態

について

1 内臺兒自由遊びの際等に動もすれば内地人幼児は優越感を持ち、本島兒に對して差別待遇をなすことあり

斯かる場合には次記の如き弊害を伴ふことあり。

イ、本島兒は自ら本島兒同志寄り集りて臺灣語にて話し合ふ。

ロ、從順さを缺く。

ハ、保姆の問ひに對して答へない。

2 内地兒は無邪氣にして快活なるもの多し。

3 内地兒は割合に社交性に富み人に馴易し。

4 本島兒はよく保姆を信賴する。

5 本島兒は内地化を欣ぶ。

6 本島兒は團體的觀念薄し。

7 本島兒は衛生的觀念薄し。

8 本島兒は一般に國語の發音惡しきもの多く殊に「てにをは」の使用を誤るものあり。

9 本島兒は遊び方動もすれば粗暴に傾き易し。

五、内臺保育の實際状態について

幼兒保育の效果は單に幼稚園に於ける保育のみにては充分なることを得ず。故に幼稚園と家庭とは常に密接なる連絡を取りて幼兒の心身性情に注意し、其健全なる發育を計ることを要す。現在執りつゝあるこれ等の關係を示せば次の如し。

1 保護者に對して

イ、幼兒の入園と共に保護者に對して幼稚園の目的、

即ち幼兒の心身の健全なる發育に努め善良なる性情

を養ひ家庭教育を補ふ所なることを理解させる。

ロ、特に本島兒保護者に對しては幼稚園は小學校入學の準備教育をなさぬことを充分に理解させる。

ハ、凡ての生活特に禮儀作法等内地風になす事を知らしめ、家庭にての實行を奨める。

2 保母として

イ、保育者の人格と素養は幼兒の心情に至大の影響を及ぼすを以て、常に修養に努めること。

ロ、幼兒の發達狀態を觀察し個性的指導を忘れない事

ハ、保母は常に内臺幼兒の融和に努め相互に差別的取扱ひをなさぬ事。

ニ、智的に偏せざるやう常に心情陶冶に努め良習慣の養成に精進すること。

ホ、保母は正しき發音に注意し、常に機會を捕捉し國語の對話によりて幼兒を指導し、自然に國語に習熟せしむること。

へ、環境に注意し園内の整理整頓裝飾に努むること。

ト、自然界との接觸を多くし幼兒をして大自然の恩恵

に感謝の念を持たしむること。

3 幼兒に對して

1、國民精神の基礎を培養する事。

一、皇室及び國家に對して絶對尊崇の念を養ふ事。

一、國旗國歌に對する禮儀を知らせる。

一、忠孝の道を知らせる。

一、敬神敬佛の念を養ふこと。

一、祖先を崇拜する事。

一、愛國愛郷の精神を涵養する事。

ロ、内地兒に對しては本島兒との圓滿なる交友に努め

且つ良き模範を示す様に取扱ふ。

ハ、幼兒の衛生即ち清潔容姿整頓の習慣を養ふ。

ニ、公德心の養成に努む。

ホ、禮儀作法並びに言葉遣ひに注意す。

へ、依頼心を避け勤勞を喜ぶ習慣を養ふ。

4 保育の各項目について

A 幼兒の生活の中より題材を選ぶ様にする。

B 時候及び社會の行事を取入れる様にする。

イ、唱歌

C 郷土的資料を取り入るゝ事。

D 歌曲は明朗にして野卑に渡らぬもの。

唱歌は始め歌詞を何回もお話の如く言はしめ、言葉を了解せしめて後に曲と共に合唱し毎日繰返し歌はせる。若し自由遊び等の時誤り歌ふ様なる時には訂正をする。

ロ、遊戯

A 身體各部の適當なる運動によりて心身の調和發達をなし得るもの。

B なるべくリズム的に取扱ひ快活にして興味を誘導し得るもの。

C 團體遊戯により協同精神を養ふと共に公德心を起さしむる様に導くこと。

遊戯は既知の唱歌に動作を付けたるものを選び内地兒の間々に本島兒を配置して互ひに親しみを持たせる。

A 幼兒の精神の發達に適したるもの。

B 興味あるもの。

C 心情を陶冶するに足るもの。

D 慘酷恐怖の材料を取らぬこと。

ハ、談話

談話は内地兒は非常に興味を持つに反し本島兒は餘り興

味を持たない。かゝる場合は内容を充分理解するやう始めは繪解により次は會話により話し方に馴れしめ、最も平易なる童話に及ぼし遂に識らずくの間に興味を持つ様に導く。

ニ、觀察

A 單に觀察科として取扱はず凡ての保育項目に渡つて出来るだけ實物の觀察を多くする。

B 實物に依らざる場合は模型標本繪畫等によりて觀察を補ふ。

尙園外保育によりて自然界人事界の觀察力を深くする。

以上の保育項目につきては何れも幼兒の年齢に適し理解し易きものを選ぶやうにする。

六、内臺幼兒を取扱ひ效果ありと

認めらるる事

現在内臺保育の利弊につきては未だ適確に云ひ難き最近に於ける保育の實際に於て顯著なる效果として認むべきものを擧ぐれば次の如し。

1 皇室に對する敬虔の念を深め愛國心を強くす。

2 内地兒は識らずくの間に本島兒と仲よく遊び内臺

の區別を認めざる様になる。

3 本島兒は追々國語に熟達し(家庭にても使用する者は著しく流暢なる)快活なる。

4 禮儀作法及び清潔整頓の習慣も自然の内に理解する

5 個人生活より團體生活の基を形成する。

三つ子の魂百までの言の如く幼兒時代より内臺融和をなし、日本國民精神の基礎を培養し以て善良なる國民を養成する事こそ、臺灣に於ける保育者の最も重大なる任務なる事を確信し、一層の努力を要する事を痛感するものである。

本島幼兒保育に就て

一、本島人幼稚園の目的と使命

本島に於ける國語普及に就いては、當局を始め識者の間で盛んに叫ばれつゝある問題である。

本島幼稚園施行規則中にも「國語ヲ常用セザル幼兒ヲ保育スル幼稚園ニ在リテハ、特ニ國語ノ話シ方ニ習熟セシムルコトニ留意スベシ」とある。幼稚園令第一條「幼稚園ハ幼兒ヲ保育シ其心身ヲ健全ニ發達セシメ、善良ナル性情ヲ涵

養シ家庭教育ヲ補フヲ以テ目的トス」とある所からおして考ふるに、善良な性情の涵養は、國語に慣れしむる事によつて大に效果的に導く事が出来る。國語を解し得ない場合はそれが困難であつて、個人的生活にも社會的生活にも非常に支障を來す事が多い。

大人になつてからでは、今迄臺灣の傳統的な種々なる生活が浸み込んで居るために、急に改める事は困難である。然し幼兒時代から内地人の生活に親しませれば、苦もなく自然の裡に内臺融和が行はれ且國語にも慣れ易い。即ち

一、國語に慣れる事によつて優越感を有す。(世界一等国の國語を話し内地人の生活と同程度になる事は子供乍らも偉くなつた様に感じて)

二、日本精神の涵養なる(國語を話す事が出来ればそれによつて日本人の氣持ちに通ずる事が出来るから日本精神にも通ずる事が出来る)

國語習熟の爲に努力しつゝ保育する、保育しつゝ國語習熟を計る事が本島人幼稚園の使命であると思ふ。

二、國語の取扱ひ方

一、入園當初家庭調査により程度を知る。

二、簡単な國語（立つ、腰掛ける、歩く）等保母は絶えず話して聞きなれさせす。

三、言葉を模倣させる特にラ行のラレロミダ行のダデドは誤り易いからはずきり發音が出来た様注意する。

四、日常生活に必要な擬聲語を發表せしめる様努力する。動物の鳴聲ミか機械の音等は聞き様によつてちがふ。例へば犬は本島語ではワン／＼、英語ではバアウ

バアウにも聞ゆるから犬の鳴聲ミ云へばすぐワン／＼と聞える様に矯正する。

五、感歎詞のアー奇麗、マーこわい、アラ泣いてる等、早く國語に慣れしめアイヨー等突飛な聲の出ない様にする。

六、保育項目の全般に互る事

△唱歌遊戯

イ、本島語で説明して觀念を傳へ言葉を正しく發音をたしかにして後曲に移る。慣れるに従つて歌詞を云はせ曲を耳に入れて後歌はせる。

ロ、歌ひ慣れるミ兎角間違つた歌詞になり易いから時時歌詞のみを云はせ正しい發音に導く。

ハ、時には簡単な歌詞を吹き込みたるレコードを聞き取らす事もある。

ニ、遊戯は言語ミ直接の關係なきも、動作により意味が一層解り又記憶を助ける。

△觀察

イ、園外保育其他實物を觀察させつゝ言葉も共に覺ゆる場合。

ロ、繪本（キンダーブック其他）掛圖、單畫等繪畫による場合。

掛圖、繪本はなるべく動的なものを選び、名詞ミ動詞を結びつけて話す様指導する事が大切である。動詞は應用がきゝ、思考力、推理力にも働きかけるから初期から織り込む。

單畫は實物材料の得難い物等用意しておくこよい。

△談話

イ、興味を起させ又あきない様に、繪本や掛圖を多く

用ひる。

ロ、日常用語の内容を理解さす爲には表情を多くする
(手、足、聲等)

ハ、代表的な普話等は同じ話を何回も話す事によつて
言葉にも慣れさせ遂には幼児自身が話す様に導く。

ニ、意味の解らない様な言葉は、よく解る様な子供に
説明させる。

ホ、問答法によつて話させる。

ヘ、經驗談を斷片的に發表させ、進むにつれてましま
つた話にまで導く。

△恩物手技

イ、簡單なもの例へば折紙一枚でも色、形、名稱、動
作等國語に慣れさせる。

ロ、作品によつて話させる。

七、自由遊びの(ま、ま、こ、こ、人形遊び、カゴメ、鬼ごっこ、

兵隊ごっこ等)の相手になり、自然的に會話の練習及發
音に注意し矯正につとめる事。

○例 A 保母の模倣による習得

今日キンダーブックを配りました。持ち易い様にミクル
クル巻いてしばつてあげましたので、子供達は大悦びで
す。早速口にあてて「トテチテテター」……「先生僕兵隊
さんよ」……「云ふ子はまだおきなしい方で、中には嬉し
さの發露がお互ひにおつむをポンく竹刀の積りでやつて
居ます。其中「先生これ」……「泣き相な聲がします。行
つて見るミ巻いてある繪本の上が一寸裂けてゐました。「破
れたの?」……「ウン破れた」……此發表しかねてゐる言葉
を補はれて、すっかり繪本の事も忘れて如何にも満足さう
な面持ちをして居りました。

○例 B 自分からの發表による習得

お山が出来た、トンネルが、汽車が、公園が出来上つた
時の満足さうな顔、純真な笑

「昨日雨が降りましたねー」

「先生虹見たよ」

「僕のお父さん雨ザア〜頭死んだよ」

「アラさう……頭が痛くなつたんでせう」

「ん」

知つて居る範圍内で如何に表現し様かミ苦心して居る様子がうかがはれます。

○例C 質問による習得

急にバタ／＼ツミ靴音がして、しつかり手を握りしめた玉梅さんが駆けて來ました。

「先生、これなあに」

「ごーれ、ア、これね、カタツムリ」

「カタツムリ、カタツムリ面白いねー、カタツムリの着物丸いねー、お目々こんなに長いねー、臺灣語ロー

レイミ云ふのよ」

もう一度カタツムリミ云つて彼方に行つて仕舞ひました。
(保姆日誌より)

八、國家的行事を織り込んで資料を豊富にする事。

九、幼児自身國語を話さう／＼とする其氣配を利用して話す機會を作つてやる。

三、躰方

國語に關聯しての躰方をなし、折にふれて挨拶、禮儀、作法、整頓、清潔に慣れしめる。本島幼児の性行中一般的

に長所ミ思はるゝ點。

一、保姆への信賴の念が強い。

二、自發的に内地化を悦ぶ。

三、事に臆しない。

短所ミ思はるゝ點。

一、買喰ひの習慣(社會環境の影響から來る)

二、依賴心が強い(家庭環境の影響から來る)

三、公共物を粗末にする(社會的な訓練がないから)

四、衛生觀念の程度が低い。

等である。保姆としては常に長所をよく誘導して、短所を矯正する事が大切である。

○例 お辨當の時間

お晝食の鐘が鳴りました。ニコ／＼したお顔が手洗ひ場へ飛んで行きます。スベリ臺から、ブランコから、お砂場の中から。

お手洗ひの濟んだ子は自分のお辨當をかゝへてお部屋へお部屋へミ流れて行きます。

「さあ、御飯にしませう、お手も洗つてね」ミ云はれて、

あわてゝ洗ひに行く子もありません。間もなくオルガンのメロデーに子供等は嬉さを包んでのお眠り……静かな

「おあがんさい」……の聲を破るかの様に一齊に「いただきます」元氣のよいお返し、同時に暖かいおいしさうなお辨當が開かれます。

臺灣では氣候の關係ミ米の質の爲、冷たい御飯は身體に毒だミ信じられてゐるものですから大人でも、子供でも冷たい御飯は絶対に喰べません。其爲お晝頃になりますミ家に歸つて晝食したり、家から持つて來たりしますので、幼稚園では朝登園の時自分で持つて來させるため、暖める設備をして居ります。

「お父様やお母様が、切角こしらへて下さつたお辨當を殘したりこぼしたりするミ一寸法師の様に小さい子供になつて仕舞ひますよ」……の注意も時々は必要です。

又一般に本島人の御家庭の食事ではお汁かけで流し込むか、おかゆをサラ／＼呑み込むかしなければ食べられない様な、習慣のついた子供があります。よく噛む事、間でガブ／＼お湯を呑まない事、御飯にかけない様に等、氣をつ

けなければなりません。

中には家庭では一人で喰べるミ遊び乍ら喰べて、折角の熱い御飯が冷めて身體に毒だからミか、おそいのを面倒がつて早くかたづけ度い大人の都合から、一人でたべ度い自發活動も厭へて仕舞つて、いつも／＼たべさせるので自分では食べる事が出来なくなつて居るお子さんが、時たまあります。さうゆうお子さんは幼稚園のお辨當には實に肩身が狭く恥かしくなつて、遂にはお友達に倣つて自分で食べる様になり、其事を悦んで來るお母さんがあります。

御飯が濟みますミ「御馳走様」の挨拶をして一人でかたづけお湯呑を持つて立ち、うがひをしてから遊びの中に飛び込んで行きます。
(保姆日誌より)

以上は本島幼兒保育についての大概であるが、それには一、心身の發達の程度及年齢等も考へて無理しない事。

二、幼稚園の保育ミ、公學校の教育ミ混合しない様、あくまでも保育でなくてはならぬ事。

三、家庭との連絡によつて向上を計る事。
等は勿論云ふまでもなく大切な事である。